

論文審査の結果の要旨

氏名 土岐豊嗣

土岐豊嗣はアファイン空間内の超平面配置に関する合流型超幾何関数を要素とするある行列式に関する研究を行った。超幾何関数は特異コホモロジーとドラム・コホモロジーのペアリングとして解釈されるが、ドラム・コホモロジーに関しては青本氏、オーリック氏、寺尾氏らによる予想がある。論文提出者はこの予想にあげられている集合、及びラグランジアンサイクルの集合に関する行列式に関してひとつの予想を提出し、生成的な場合、及び2次元の直線配置の場合にこの予想を示した。この結果によりこの二つの場合の青本氏の予想を示したこととなる。

提出された論文の結果は美しく、用いられている手法も自然なもので、この方向の研究のひとつの指針を与えている。よって論文提出者 土岐豊嗣は博士(数理科学)の学位を受けるにふさわしい十分な資格があると認める。